

## 8 消防費

### 1 消防費 1 常備消防費

[担当:消防本部 総務課] P.222

0501 消防総務事務に要する経費 22,930,000 円(16,685,000 円)

[その他 1,500,000 円 一財 21,430,000 円]

\*特財積算根拠

[手数料:危険物許認可手数料 500,000 円]

[寄附金:消防費寄附金 1,000,000 円]

目的

消防行政事務の適正化と消防活動の万全を図る。

内容

消防行政の需要に的確に対応し、火災、救急及び救助活動等の効率的な展開を図る。また、今年度から自動体外式除細動器(AED)を市庁舎、図書館、公民館及び小中学校等に配備する。

・平成 17 年度出動件数(H18.1.31 現在)

火災	32 件
救急	3,617 件
救助	46 件

[担当:消防本部 総務課] P.224

2001 職員研修に要する経費 1,848,000 円(1,630,000 円)

[一財 1,848,000 円]

目的

近年、複雑多様化する各種災害をはじめ、救急救助活動及び火災予防業務等の高度化に消防職員が適切に対応するため、専門的な知識及び技術の習得を図る。

内容

今年度から新設された、救急救命士薬剤投与追加講習及び既設の気管挿管講習をはじめ、茨城県立消防学校や他の機関で実施される各種研修会等に職員を派遣する。

- ・ 茨城県立消防学校救急科 2 名
- ・ " 救助科 1 名
- ・ " 火災調査科 1 名
- ・ ポンプ操法指導員研修 1 名
- ・ 救急救命士気管挿管講習 3 名
- ・ 救急救命士薬剤投与追加講習 1 名

[担当:消防本部 総務課] P.225

2201 消防庁舎の管理運営に要する経費 28,971,000 円(31,429,000 円)

[一財 28,971,000 円]

目的

災害の拠点施設である消防庁舎の適正な管理を図る。

内容

消防庁舎の適正な維持管理に努め、職場環境の整備充実を図る。

- ・ 消防庁舎                      取手消防署 (消防本部)  
   戸頭消防署  
   吉田消防署  
   櫛木消防署  
   宮和田消防署

[担当:消防本部 警防課] P.226

2301 消防自動車の維持管理に要する経費 10,217,000 円(8,876,000 円)

[一財 10,217,000 円]

目的

火災及び救助の際出動する消防自動車等が、最大の能力を発揮できるよう適切な維持管理を行う。

内容

- ・ 主な配備車両              指揮車                      1 台  
   指令車                      6 台  
   はしご車                    1 台  
   救助工作車                2 台  
   水槽式ポンプ車            6 台(化学車 2 台含む)  
   ポンプ車                    5 台

## 1 消防費      2 救急業務費

[担当:消防本部 警防課] P.227

0501 救急業務に要する経費 2,609,000 円(2,763,000 円)

[一財 2,609,000 円]

目的

救急資機材の適正な管理と、的確な救急業務の遂行を図る。

内容

救急活動体制の万全と、救急活動中における隊員の感染防止対策や住民への応急手当の普及活動の推進を図る。

- ・ 救急自動車配備状況
 

高規格救急自動車	4台
2-B型救急自動車	3台(予備車2台含む)

### 1 消防費 3 非常備消防費

[担当:消防本部 総務課] P.228

2001 消防団員に要する経費 49,345,000円(49,253,000円)

[その他 11,000,000円 一財 38,345,000円]

\*特財積算根拠

[諸収入:消防団員退職報償金受入金 11,000,000円]

目的

消防団員の処遇及び福利厚生の実施を図る。

内容

消防団員の報酬や手当等をはじめ、消防団員退職報償金等、また、消防団員公務災害補償等共済負担金などの各種負担金等の支出。

- ・ 消防団員の定数 649人

[担当:消防本部 総務課] P.228

2101 消防団の運営に要する経費 46,419,000円(23,366,000円)

[地方債 16,600,000円 その他 7,700,000円 一財 22,119,000円]

\*特財積算根拠

[市債:消防防災施設整備事業債 (21,500,000円-3,055,000円)×90% 16,600,000円]

[繰入金:公共施設整備基金繰入金 7,700,000円]

目的

消防団組織の充実した運営の維持と活性化を図る。

内容

消防団活動に必要な施設の改善を図る。今年度は、2個分団(第1分団、第16分団)の拠点施設について整備し、特に第1分団の拠点施設については、水防倉庫との併設で整備するため、従来の消防だけでなく、水防面での充実も図る。

- ・ 消防団組織 1本部 38分団
- ・ 消防団配備車両
 

ポンプ車	20台
小型ポンプ積載車	18台

### 1 消防費 4 水防費

[担当:消防本部 警防課] P.230

2001 水防に要する経費 2,539,000円(2,206,000円)

[一財 2,539,000円]

目的

水防施設の適正な維持管理と、水防体制の万全を図る。

内容

水害に備えた水防演習訓練や、管内の排水樋管の適正な維持管理に努め、水防活動体制を確立する。

## 1 消防費 5 消防施設費

[担当:消防本部 警防課] P.230

2101 消防自動車等の整備に要する経費 33,000,000 円

[国・県 12,594,000 円 地方債 18,300,000 円 一財 2,106,000 円]

\*特財積算根拠

[国補:緊急消防援助隊設備整備費補助金 25,188,000 円 × 1/2 = 12,594,000 円]

[市債:消防防災設備整備事業債 (33,000,000 円 - 12,594,000 円) × 90% 18,300,000 円]

目的

消防自動車等の適正な配備により消防力の充実を図る。

内容

平成7年度に取手署に配備された高規格救急自動車を更新する。